

令和7年度第1回あわらし郷土歴史資料館運営協議会会議録

日 時：令和7年7月15日（火）

午後1時から

場 所：金津本陣 IKOSSA 3階

市民文化研修センター研修室1

（次第）

1. 文化学習課長 あいさつ

2. 議題

（1）令和3年度の年報について

（2）令和6年度郷土歴史資料館事業報告について

（3）令和7年度郷土歴史資料館事業の計画について

3. その他

（出席委員）

水野 和雄 吉田 純一 長野 栄俊

宇都宮 高栄 能美 進 寺井 玲子

瀬戸 暢代

（欠席委員）

なし

（事務局）

文化学習課長 中道 和也

郷土歴史資料館館長 九千房 英之

郷土歴史資料館学芸員 吉田 紺碧

【文化学習課長 あいさつ】

【郷土歴史資料館館長 あいさつ】

（1. 令和3年度の年報について事務局より報告）

委 員：（年報について）良いと思う。ただ、年報では前年度のことを知りたいので令和6年度のものを出してほしい。また、印刷物でなくてもいいし新しいことをしているわけでもないで、今年中に令和3、4、5、6年度の年報を出してほしい。さらに、学芸の方

もいるわけなので、研鑽していることを論文化して紀要を出してほしい。年報紀要という形でもいいので。

事務局：令和3～6年度の年報については、本年度第2回の協議会ではお見せできるようにする。紀要等については検討する。

委員：発掘調査報告書もHPで出すのか。

事務局：資料館であげるのではなく、奈文研のデータベースであげることにしている。

委員：年報をまとめることはいいことだと思う。ただ、協議会でいただいている資料とほとんど変わらない。どうせ作るなら、我々はこんなことをやっているんだという熱意のこもったものを見せてほしい。例えば、本陣飾り物のところも1つしか写真が付けられていないが、5つ全部付けるなどの熱意を見せてほしい。

委員：県文書館の方でも前年度の年報は翌年度に出すことになっている。一度フォーマットを作ってしまうとあとはめ込んでいただけなので、翌年の1回目の協議会の資料に出せるようにして、そこで間違っているところなどあれば直してもらってから正式発表できるように、来年度からしていけばいいかと思う。あと、先ほど研究を載せる話があったが、現状、市の広報などで載せているのか。

事務局：ときどき掲載している。

委員：福井県歴史博物館だと、福井新聞に載せているコラムを紀要ではなく、たよりに載せている。折角書いたものであっても一過性ですぐになくなってしまふのはもったいない。市民は資料館の職員が何をしているのかわからないと思うので、もちろん論文などきちんとしたものがいいとは思いますが、色々やっていることを何らかの形で示してあげるのがいいと思う。あと、寄贈の項目で名前が載せられているが、寄贈者から了承は得ているのか。

事務局：曖昧なので後で確認しておく。

(2. 令和6年度郷土歴史資料館事業報告について事務局より報告)

委員長：年報の件にもつながるが、報告資料にどういう活動をしたかということを中心に載せることで、文化学習課の予算の獲得にもつながるので、しっかりしてほしい。あと、他の委員とも話しているが、常設展示のジオラマはどうにかならないか。歴史的におかしところも多々あり、子供たちが不可思議に思ったりそれが本当であると思ったりしてしまいかねない。

事務局：検討する。

委員：どういった職員がいるのか組織図がほしい。あと、狛犬展の観覧人数1200人はすごい。他の展示とくらべてどういったことが要因だと考えているか。

事務局：色々調べ、どうしたら一番よく見えるかを工夫した結果だと思う。あと、撮影をすべてOKにしたので、色んなところで拡散されてマニアの方に来ていただくことができた。あとは、展示した狛犬は普段屋内にあり見ることができないので、それを見たいと思

う方が多かったのではないかと。

委員：ミニ展示やイベントの項目で感じたが、期間で順番を並び替えた方がいいのではないかと。

事務局：そのように変更する。

委員：地域別来館者数は現在、置いてある板に自主的に来館者に答えてもらう形式をとっているが、もう少し忠実に統計を取る方法はないのか。県外からこれだけ来ているということアピールするうえで、必要かと思う。

事務局：検討する。

委員：一番割合の多い石川県以下の都道府県も記してほしい。

事務局：そのように変更する。

委員：県外にはポスターなどを送っているのか。

事務局：普段は県外だと石川・富山、場合によっては滋賀・岐阜まで送っている。それ以上は、枚数の関係などで送ることが難しい。

委員：展示の内容によって、送るところを変えてみてはどうか。

事務局：PRタイムスという全国に配信できるものを市の方で行っている。

委員：企画展の項目で、展示目録や内容をもう少し詳しくしてほしい。

委員：年報に関して、収蔵品数を記載する必要があるのではないかと。

事務局：数えるのが難しい資料もあるので、検討したい。

委員：それが難しければ、代表的な資料名を明記するだけでもしてほしい。この資料館に何があるのかが今のままだと明らかになっていないように感じる。

委員：協議委員になるまで、資料館があることは知っていたが何をしているのかは正直知らなかった。チラシやポスターなどもっと発信してほしい。

委員：(予算の確保の面からも)新聞に載ったこと等を年報に入れてみてはどうか。

事務局：過去からさかのぼって行うことは難しいが、今年度からそうするよう努力したい。

委員：予算化が難しいようなら、先ほども申し上げたように年報と紀要(職員の研究を記すもの)を1つにすればいいのではないかと。紀要については毎年出さなくても、特別展を行った年などに限っていいと思う。とにかく、資料館職員がいかに頑張ったかを示す必要がある。

委員：縄文ピアスづくりについて講師が金津まちなか創生会になっているが、権限を委託したのか。

事務局：職員数の観点からお手伝いをお願いしているだけなので、資料館主導で行っている。

(3. 令和7年度郷土歴史資料館事業の計画について)

委員：くん蒸についてエキヒュームが販売中止となったが、これまでから何か方法は変えるのか。

事務局：今まで使用してたのがヴァイケーンなので、変更する予定はない。

委員：レプリカ作成やくん蒸、常設展示の入替などはお金がかかると思うが、予算化はしているのか。

事務局：要求を行い、予算化している。

委員：予算状況がわからない身からすると、どれだけの規模でするのがわからなかったので、聞いた。

委員：どれくらい予算がついたのか。

事務局：レプリカ作成で60万程度ついている。

委員長：見直しをかけた結果、これだけ反響があったということを示せるといい。

事務局：予算要求の際に、しっかり主張できるようにしたい。

委員長：今、古文書の翻刻作業を行っているが、もっとあわら市のお宝を翻刻しているということを発信してほしい。そうすれば、アピールにもなるのではないか。

事務局：作業を行ってもらった分はパソコンの方に入れなおして、どうにか公開できるような形にしているので、もう少し時間をいただきたい。

委員：翻刻作業も重要な成果だと思うので、しっかりとした画像でなくてもいいからデジタルアーカイブふくいを利用してほしい。この資料館にはどんな資料があるのかを知ってもらいたい機会だと思う。

事務局：藤野巖九郎家文書や中番村文書などを公開する予定としている。

委員：最初から画像を出すのは大変だと思うので、せめて目録だけでも公開できるといい。それも資料館活動だと思う。

委員長：願慶寺文書もほとんど翻刻してないが、きちんとしていけば面白いと思う。

事務局：今作業している分が終われば、ぜひお願いしたい。

委員：展示について、記憶に残っているのは図録を作っている特別展なので、やはり薄いものでもいいから図録を作してほしい。

事務局：今回は担当学芸員が企画展を初めて担当するので、大きな負担がかからないよう控えた。今後経験を積んでいけば、挑戦してくれると思う。

委員長：ペーパーレスはどうか。

事務局：図録は、年報とは性質が異なるので、印刷物として刊行したい。

委員：議事録について、一言一句の文字起こしではなく要約する方がいいのではないか。

委員長：場合によると思う。過去の発言について確認したい場合は、要約だと困る場合もある。

(4. その他)

委員：特になし。

事務局：ないようなので、これにて議事を終了する。